

6. 目標と施策

(1) 数値目標

目標項目	現状値	目標値	目標値の説明	データ出典
幼児死亡率 (幼児人口千人あたり)	0.11 【R4】	0.04以下	幼児(1～4歳)の死亡率(幼児人口千人あたり)を0.04以下とすることを目標とします。	人口動態調査
軽症乳幼児の救急搬送率 (乳幼児の急病による救急搬送のうち軽症患者の割合)	75.9% 【R4】	70.0%以下	急病に係る乳幼児(生後28日以上満7歳未満)の軽症者搬送率を70.0%まで減少させることを目標とします。	三重県調査
小児傷病者救急搬送時の現場滞在時間30分以上の件数 ()内は重症以上で搬送された件数 ※重症以上の件数は30分以上の件数の内数	207件 (1件) 【R4】	90件以下 (0件)	小児傷病者の救急搬送に係る現場滞在時間が30分以上の件数を90件以下とすることを目標とします。	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査
小児科医師数 (人口10万人あたり) ()内は実数	13.1人 (232人) 【R2】	14.6人以上 (258人)	人口10万人あたり的小児科医師数が全国平均(R2)以上となることを目標とします。	医師・歯科医師・薬剤師統計
レスパイト入院が可能な病院および医療型短期入所が可能な施設数	入院可能 : 7施設 短期入所可能 : 4施設 ※1施設は入院可能かつ短期入所可能な施設です。	入院または短期入所が可能な施設 12施設	医療的ケア児が利用できるレスパイト施設を増やすことを目標とします。	三重県調査

(2) 取組内容

取組方向1：小児医療を担う人材の育成・確保

- 三重大学医学部における教育・研修体制を充実・強化することで、小児医療に関わるさまざまな診療科について専門医療を実践できる質の高い小児科医や小児外科医の育成を進めます。(三重大学、市町、県)
- 医学生に小児科の魅力を伝えるセミナーや、臨床研修医に対する専門研修プログラムの説明会を実施するなど、将来における小児科の専門医の確保を図ることにより、小児科、小

1.0. 小児救急を含む小児医療対策

【数値目標】

項目	現状値（年次）		目標値	データ出典
幼児死亡率（幼児人口千人あたり）	0.11	R4	0.04以下	人口動態調査
軽症乳幼児の救急搬送率 （乳幼児の急病による救急搬送のうち 軽症患者の割合）	75.9%	R4	70.0%以下	三重県調査
小児傷病者救急搬送時の現場滞在時間 30分以上の件数 （ ）内は重症以上で搬送された件数	207件 (1人)	R4	90件以下 (0件)	救急搬送における医療機関の 受入状況等実態調査
小児科医師数（人口10万人あたり） （ ）内は実数	13.1人 (232人)	R2	14.6人 (258人以上)	医師・歯科医師・薬剤師統計
レスパイト入院が可能な病院および 医療型短期入所が可能な施設数	入院可能 7施設 短期入所可能 4施設 ※1施設は入 院可能かつ 短期入所可 能な施設	R5	入院または 短期入所が 可能な施設 12施設	三重県調査

【基本指標】

項目	現状値（年次）		データ出典
災害時小児周産期リエゾン委嘱人数	27人	R5	三重県調査
小児科を標榜する病院数・診療所数	病院	42施設	R2 医療施設調査
	診療所	69施設	
＃8000相談件数	10,182件	R4	三重県調査
＃8000応答率	—		三重県調査
「医療ネットみえ」のうち「子どもの病気・ケガ」検索件数	12,038件	R4	三重県調査
救急医療情報センターコールで小児科を案内した件数	11,122件	R4	三重県調査
地域連携小児夜間・休日診療料届出医療機関数	7施設	R3	診療報酬施設基準
小児の訪問診療実施医療機関数	23施設	R5	三重県調査
小児の訪問看護を実施している訪問看護ステーション数	51施設	R3	訪問看護レセプト
医療的ケア児数	309人	R4	三重県、小児在宅医療 推進WG調べ
小児かかりつけ診療料（レセプト件数）	20,426件	R3	NDB
小児人口あたり時間外外来受診回数	24,967件	R3	NDB
退院支援を受けたNICU・GCU入院児数	308人	R3	NDB
在宅人工呼吸指導管理料を算定している診療所の割合	—		三重県調査
乳児死亡率（出生千対）	0.9	R4	人口動態調査
児童死亡率（児童人口千人あたり）	0.06	R4	人口動態調査